

田上町

第78号

■平成20年10月24日 発行

議会だより



▲天高く実りの秋

9月定例会・意見書・請願・陳情	2~3P
一般質問	4~8P
常任委員会付託案件審査報告	9P
決算審査特別委員会報告	10~12P
町の財政の推移・一部事務組合等の報告	13P
議員の活動あれこれ／編集後記	14P

一般会計・特別会計補正予算可決 平成19年度各会計決算認定



9月定例会の経過

9月定例会は9月16日（26日の11日間にわたり開かれた。

初日は、所管事務調査報告及び諸般の報告が行われた。次に人事案件が上程され、田上町固定資産評価審査委員会委員の選任が行われた。委員として、早津紳也氏が同意された。

佐藤町長から提出議案の説明が行われ、その後決算審査特別委員会が設置された。そして、それぞれの委員会に関連議案付託が行われた。

16日、17日には、一般質問が行われ、5氏が質問した。田上町の現状に対して、町長の町政への真剣な質疑がなされた。

18日は総務産経常任委員会、19日は社会文教常任委員会、各付託案件の審査が行われた。22日、24日、25日の3日間は

決算審査特別委員会が行われた。

19年度歳入歳出決算

- 一般会計
- 下水道事業特別会計
- 集落排水事業特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 老人保健特別会計
- 訪問看護事業特別会計
- 介護保険特別会計
- 水道事業会計

決算審査の中で4年前から取り組んでいる財政健全化も順調に推移し、基金も取崩さずに済んだことなども報告された。

最終日には、各常任委員会に付託された案件は本会議において、全て承認・原案可決されました。

決算審査特別委員会に付託された案件は、慎重に審議の結果、全て認定されました。

議員発議による意見書

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第9号	道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書	塚野 一二三 小野 澤 健吉 吉田 昭 一 児玉 輝 男 川口 與 志郎	原案可決	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 経済財政政策担当大臣

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第8号	「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める請願	新潟市中央区学校町通一番町1番地 新潟県弁護士会 会長 高野 泰夫	採 択	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 財務大臣 総務大臣 消費者行政推進担当大臣
請願第9号	町道改良に関する請願	田上町大字田上丁581番地 後藤地区 区長 石崎 敏男	採 択	
請願第10号	燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願	新潟市北区葛塚3346 農民運動新潟県連合会 代表 町田 擴	趣旨採択	
請願第11号	介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める請願	新潟市中央区万代3-4-12自労会館内 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠	採 択	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

陳情

番号	件名	陳情者
陳情第4号	地域間格差を拡大する地方移譲に反対し、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める陳情書	国土交通省全建設労働組合北陸地方本部 関屋分水支部 支部長 小山 英夫

趣旨採択とは 請願について、原意は妥当であるが実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法



川口與志郎 議員

新しい視点で 田上町の 治水対策を!

田上町の治水対策について

問 最近、ゲリラ豪雨が、日本
のあちらこちらを襲いました。
つまり神出鬼没な豪雨です。

もしゲリラ豪雨に襲われてい
たら、田上の西側の住宅だけで
なく、そこに広がる田んぼも冠
水したかもしれません。異常気
象の影響があり、今までの常識
が通用しなくなっているのです。
そのことを、町長はどう考え
ているか伺います。

町長 この重大性は十分承
知しております。治水対策は、一

級河川につきましては、国、県に
もお願いして現在、できるところ
から鋭意工事を進めていただい
ております。

者にご理解をいただくよう努力
を重ねていきます。

「後期高齢者医療制度」に ついての町長の見解と 資格証の発行について

問 この制度は高齢者の尊厳
の問題です。

保険料を滞納しますと、保
険証が取り上げられます。保険
証の取り上げは悪質な滞納者
に限ることになっていますが単
に事務的に扱うのではなく、家
庭環境を調べるとか、慎重に取
り扱っていただきたいと思いま
す。いかがでしょうか。

町長 引き続き広域連合およ
び県と十分連携しながら、関係

持続可能な田上の農業を めざして

問 欧米の人は輸入品より国
産品が大変高くても、国産品
を買います。

自分の国の農業を支えるこ
とが自分を支えることであるこ
とを十分に承知しているからで
す。

不要不急な土木事業の大胆
な削減を行って、農業にお金を
回し、主要な農作物の価格を
保障していくことが必要です。
地産地消ももっと大規模に進
めなければなりません。いかが

でしょうか。

町長 農業保護が必要である
という考え方には私も同感であ
ります。しかし、国の政策によっ
て行わざるを得ず、当町の財政
規模には限界があります。

このたびの国際的取り決めの
決裂はほつとしているというのが
私の率直な気持ちです。



▲稲刈りの風景

問 質 一般

消防団、充足率・ 参加率は 厳しい状況!

消防団について

問 全世界的に消防団員の減
少が懸念されています。

田上町消防団の充足率とそ
れに対する町長見解を求めま
す。

二番目に各演習の参加者が
減ってきていると思います。ここ
数年の参加率の推移を報告下
さい。

三番目に職場の理解を求め
る上で、団員の職場に依頼状な
どの理解を求めることをしてい
るのか?また感謝状など表彰
を行っているのか?を質問いた

します。

四番目に女性消防団員・機能
別消防団員の導入に関する考
え方をお示し下さい。

町長 現在、充足率は88.5%であ
ります。町の広報紙に消防団の
特集や連載などを組みまして、
活動紹介などPRに取り組ん
できたところでもあります。消防団
の各演習における参加率につい
てのご質問であります。先般
の演習では、73.4%となっております。

次に、団員の職場に理解を求
める活動ですが、以前は協力要
請を行ってまいりました。

女性消防団員・機能別消防
団員は今のところ実施には至っ
ておりません。他市町村の状況
も参考にしながら消防団の幹部
会議に問題提起いたしました。検
討していただきたいと考えている
ところであります。

田上町地域防災計画 について

問 「自主防災組織育成計画」
に関連して、自主防災組織の活
動中にケガなどをした場合の
責任はどうとらえるのですか。

2点目は地域コミュニティ
づくりの記載があるが、現在行わ
れておりません。町長の考えを
お示し下さい。

町長 自主防災活動であるた
め、町の責任・補償は発生しま
せん。危険が見込まれる場合には
プロの消防、警察に救助を要請
していただきたいというお願いを
してきました。

今年度から、防犯活動に取り
組みやすい、行いやすい小学校
区単位で体制を整えました。こ
れら防犯協会以外の活動につ
きましては今後の課題とさせて
いただきます。

「田上町ふるさと まつり」 について

問 今後、田上町のいいところ
を取り上げていきます。

ごまどう直売所のレベルの高
さに驚いています。こんなに素
晴らしい直売所があるのにまだ
まだ利用は周辺地区の住民に
限られているようです。全町の
な広がりともちづくりにつなげ
るにはどのようなことが考えら
れるでしょうか?

町長 今のところ広報紙を通
して宣伝する範囲内で協力をし
ていきたいと思っております。



池井 豊 議員



▲消防団の訓練演習



小野澤健吉 議員

問 この件につき、加茂市を除く関係市町村で県に要望書を提出されたが、今まで田上・加茂で加茂病院問題を一緒にやって来たのに加茂が抜け田上が参加した形での要望書の提出となつたのは残念である。

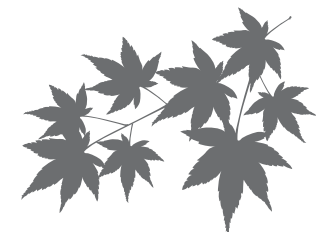
なぜ加茂市が参加しなかったのか、三条市には三条総合病院、済生会病院、三之町病院、富永病院、近くに燕労災病院等数多くある中で、尚600床の病院を

町長 加茂市長に参加を求めたが加茂病院の新築移転に伴う救命救急センター併設に特化したことでの事であった。

設置場所は、「県圏を構成する市町村の中でアクセスの良い



▲「患者と家族の会」創立十周年記念シンポジウム



医師が確保されて診療科目の充実を図り、高齢者がいつでも入院出来る病院として残していくことも一つの方法でないかと考えている。

一般質問

県央地域における中核病院及び救命救急センターの設置について



齋藤勲 議員

救命救急も大事！ 加茂病院も大事！

**県央救命救急センター設置
要望書と加茂病院の充実に
ついて**



問 「県央地域における中核病院及び救命救急センター設置」に関して、4市町村が県知事に要望書を出しましたが、5市町村がまとまるのが前提でなかったですか？

町長 三条市長と私で加茂市長に呼びかけましたが、加茂病院の移転・改築を進め救命救急センターを併設したい、ということに参加しないという返答でした。

問 600床を確保するために県央の病院再編を、とありますが、加茂病院の縮小・廃止に結びつきませんか？

町長 県としては全体の再編を考えています。加茂病院は直ぐに縮小・廃止を考えておらず、医師の確保に努力するとの返答でした。

県央の核の位置に造らなければならぬのか。

加茂市長としては加茂病院が老朽化して建替えの時期を迎えているのであれば併設をしてセンターをつくることであつてもよいのではないかと。

何も、それぞれの役割を持っている病院のベッド数を減らして600床の病院をつくらなくてもよいのではないかと。

県財政も楽でない中で、加茂市が無償で土地を提供すると云っているのではないかと。

町長が携わつて来た、加茂病院の医療をよくする会はどのようなに考えているのか。

問 要望書を出して加茂病院への取組みがおろそかになりませんか？

町長 加茂病院の充実を求める住民の声は強く、今後も最大限の努力をします。

国保会計について

問 給付準備基金が約2千100万円しかありません。また滞納金が約6千600万円もあり、監査委員が指摘するように危機的な状況だと思えます。対策は？

町長 給付金が最近伸びて、厳しい状況になっています。一般会計からの繰り入れが、可能か否か、介護保険財政も厳しいので、合わせて見直しを考えます。また悪質な滞納者には証明証の発行、差し押さえも検討します。

地域防災計画について

問 防災計画は膨大な資料です。周知するために個人用、組織・団体用にダイジェスト版を作成して配布できませんか？

町長 今年度の洪水ハザードマップに必要事項を入れますのでダイジェスト版は作りません。

問 避難訓練を記しています。が具体案は？

町長 訓練には準備と経費、周知が必要です。もう少し時間を下さい。

問 自主防災組織の現状を説明して下さい。

町長 現在は保明地区と青海地区に自主防災組織ができています。今後は地区の要望があれば、担当者が説明、相談に応じます。

「とらへるべき」と考えていた。

加茂病院の休止、廃院は早期にはないと県知事は云っており、したので、それを信じて、検討委員会でも話し合いを進めたい。会の関係者は現状は加茂病院の充実としている。

金谷県議会議長は医師の確保に絞ったほうがよいとしている。

会としては、最終的に加茂病院をどうするか結論はでていない。



中野和美 議員

一般質問

町民の意向を反映させた町づくりに

湯つ多里館の指定管理者制度への移行について

問 田上町が市町村合併の方向で進んでいる時にも、町長は町民にその意向を問いました。町民の大きな財産である湯つ多里館についても、指定管理者への移行に当たっては町民に賛否を問う必要があるのではないのでしょうか。そこまでする必要はある重大なことであると私は思えてなりません。町長の見解をお聞かせください。

町長 湯つ多里館についての賛否を問うことの意味は、来年

4月からの移行を予定している2つの施設の管理運営について心配されるような問題が生じるかどうかによって変わってくるものと思っておりますので、まずは椿寿荘とY.O.U.遊ランドの今後の状況を見きわめてまいりたい。

青少年問題協議会について

問 青少年健全育成についての諸方策を協議する会が年1回開催されます。諸方策を協議するとはいえ、多感な時期の世代の青少年健全育成について、どのような取り組みをされてきて、今後どのように取り組んでいくのか、具体策など含めまして、お聞かせください。

教育長 田上町の事業の中で外部から評価されたのは、幼児や小学生を対象としたばっば教室やゆうゆう教室です。また、かつては参加者であった子供を次にリーダーとして取り組む妙高

借換債の許可に伴い、実施したものでこれにより元利ともに450万円程度軽減される。残債は4千160万円程になる。

議第6号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第4号)議定について

第1表 歳入
第1表 歳出の内 1款 議会費、2款総務費(1、5項)6款農林水産業費、7款商工費、8款土木費
第2表 地方債の補正
260万円の豪雪対策債は交付税算入の対象とならない為に交付税算入(30%)ができる臨時地方道整備事業債に借換るもの。

議第16号 県央土地開発公社定款の一部変更について

民法の改正により適合しない文言を合法にするための改正。

委員長 泉田 壽一

働く世代の生涯学習について

問 公民館で主催する常設の午後7時以降の教室を開催し、働く世代に他世代と同様な生涯学習のチャンスを与えていただきたいのです。特に、日本が誇りをもてる伝統文化に重点をおいての推進を願っています。町の取り組みは?

教育長 勤労者が参加できる時間帯での学習機会の提供ということですが、当然この件は支援していかねばならないと考えております。具体的にこのような講座、教室などを実施してほしいという要望があれば、ある程度参加者や講師の確保等の条件が整えば開催は可能かと思っております。ぜひそのようなお話があればお聞かせいただきたいと思っております。公民館としては町民ニーズを勘案し、新たな教室、講座の実施に努めていきたいと考えております。



▲小学校のマラソン大会

社会文教常任委員会

議第3号 田上町認可地縁団体印鑑条例の一部改正について

民法で規定されていたものが自治法に改められるもの。地域的な共同活動を目的とし町長の認可を受けたものが対象となる。

議第4号 専決処分平成20年度一般会計補正予算(第3号)の報告について

税改正により税源移譲された過年度過誤納金の処理をしたもので、該当者数が436件。

議第6号 平成20年度一般会計補正予算(第4号)議定について

総務費、徴税費の減額は職員死亡による給料・手当。民生費、要保護児童対策地域協議会設置に関わるもの。老人福祉、障害者福祉、母子福祉費は額の確定による返還



▲地区開催の敬老会

常任委員会付託案件審査報告

総務産経常任委員会

議第2号 田上町特別職報酬等審議会条例の一部改正について
地方自治法の改正により文言の訂正に伴うもの。

専決処分

議第4号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第3号)の報告について

第1表 歳入 税源移譲に伴う過年度分納税者に対する還付準備金を県よりの受け入れと町の支出で用意するもの。

議第5号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の報告について

第1表 歳入
第1表 歳出の内
3款公債費
第2表 地方債の補正
昭和61年度の公債、下水道

※原案可決

※いずれも承認

※原案可決

※原案可決

※いずれも原案可決
委員長 吉田 昭一

本委員会は、本会議で付託された次の8議案を審査した結果、いずれも認定すべきものと決定しました。



関根委員長

塚野副委員長

- 平成19年度一般会計歳入歳出決算
 - 同年度下水道事業特別会計歳入歳出決算
 - 同年度集落排水事業特別会計歳入歳出決算
 - 同年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 - 同年度老人保健特別会計歳入歳出決算
 - 同年度訪問看護事業特別会計歳入歳出決算
 - 同年度介護保険特別会計歳入歳出決算
 - 同年度水道事業会計決算
- 審査にあたり予算執行の適否はもとより、19年度決算は財政健全化に着手して3年を経過したこと。また来年度は幼児園建設の新規事業の再開をひかえての審査であることから、町の財政状況および将来見通しを巡る議論が交わされました。
- 第一点は、財政健全化法の施行に伴う財政指標に関して議論されました。
- ① 実質公債比率が18.7%となり、起債許可団体として公債費負担適正化計画の策定が求められる実体にあります。
 - ② 将来負担比率は、163.1%で基準内ではありますが、この数値には本田上工業団地の将来負担額が含まれません。
- しかし実質的には約10億円の投資債務があることを見逃せない状況にあります。
- 第二点は、国の交付税減額のなかで厳しい歳入の現状に関して議論されました。
- ① 不納欠損として一般会計だけでも約1千346万円が処理されました。
 - ② 不納欠損処理の取り扱い、時効管理のあり方が問われました。
 - ③ 収入未済額は一般会計で約1億2千704万円になっています。
- 税の公平性から徴収体制について議論されました。
- ③しかし、財政調整基金からは平成17年度以降、三年連続して
- 一般会計への繰り入れはありませんでした。
- 財政健全化施策の成果として評価できます。
- 第三点は、湯つ多里館事業の収支状況と入湯税収入に関して議論されました。
- ① 19年度の総入館者は、19万6千598人で、前年比103.5%となっています。
 - ② 入湯税収入は2千687万円であることが明らかにされました。
- 歳出に関しては、予算執行と不用額をはじめ時間外手当、人件費削減効果、産地づくり交付金、護摩堂事業、野球場使用実績、農地・水・環境保全事業、学校給食と地産地消、区長報酬、入札の適正化、敬老会事業などが主な議論でした。
- 以上の議論を通じ、町長への総括議論が7件にわたって行われました。
- 委員長 関根 一義

町長への総括質疑

問 財政健全化計画の評価について

答 平成16年度に作成した財政健全化計画は、予定通り推移しているものと評価し、今後取組んでいきたい。

財政が豊になっている状況ではないので、幼児園建設以外の大きな事業は現段階考えられない。

問 敬老会事業について

答 地区開催にして三年目になるが、敬老会のあり方、検討会では、経費の増額を求める要望が数地区から出されている。このような状況の中で本年度の検討会で今後のあり方に合せて、町開催についても検討に加えていきたい。

問 不能欠損、収入未済金に関する徴税のあり方について

答 県からの派遣を受けて、技能の習得に努めている。更に、こんにち県が考えている徴収機構に町から職員を派遣していききたい。そのうえで、徴収の適正化を図っていききたい。

問 板橋区、成増地区と田上町少年スポーツ交流に関して今後の地域づくりの発展を目指してはどうか

答 当初から地域づくりを発展させたいと強い意志で取組んできた。今後成増地区との話し合いを十分に行い努力して参りたい。

問 最低賃金制度の改定に伴う町の非常勤職員の対応について

答 新潟県の最低賃金は12円アップしたことは認識している。町の臨時職員は最低賃金を上回っている。

問 農業委員会に対する定数問題並びに農業委員会活動への町としての対応について

答 定数問題については、文書も含め申し入れ、検討をお願いしてきた。特別委員会を設置し現状維持との結論となった。

今後、担い手の組織化、農業の構造改善、奨励品種の育成、ブランド化の取組みに期待したい。

問 雨水対策、湛水対策の土地改良区との一体的な取組みについて

答 町で行う土地改良事業もあり法的には可能であるとはいふものの現状は簡単な事ではない。今後この動向性について全国的な動きを見ながら進めて参りたい。



区分	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	起債制限比率	財政力指数
平成19年度	4.0%	89.9%	13.6%	10.9%	0.437
平成18年度	3.8%	92.3%	16.2%	11.9%	0.416
平成17年度	3.6%	91.8%	18.0%	13.1%	0.393
平成16年度	4.3%	95.0%	19.8%	13.2%	0.375
平成15年度	6.6%	97.6%	21.8%	13.4%	0.358
基準数値	3~5%	70~80%	10%以下	12%以下	—

財政指数の状況

一般会計

町財政の推移

(19年度決算)

総括

☆平成19年度実質単年度収支額は4千804万7千円の赤字。

☆町債残高(町の借金)は52億8千75万7千円で前年度比2億6千832万8千円減りました。

☆公債費比率は13.6%で前年度より2.6%下回っている。

☆起債制限比率は10.9%で前年度より1.0%下回っている。

☆財政力指数は0.437で前年度より0.021上回っている。

(財政力指数は1.0が基準)

☆町税は歳入全体の29.3%ですが不能欠損額は1千344万2千円で未済額は1億2千691万5千円で依然として多額であり財源確保の大きな障害となっている。

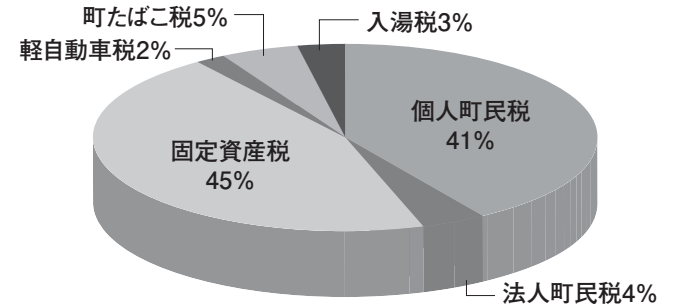
☆執行と議会と町民が自立した町づくりの為にとの努力が現れてきています。

平成19年度田上町一般会計歳入歳出決算額

歳入		単位:千円		
科目	決算額	前年度決算との比較	町民一人当たり(円)	
1 町税	1,223,531	142,984	92,286	
2 地方譲与税	97,096	△ 103,905	7,324	
3 利子割交付金	6,130	1,568	462	
4 配当割交付金	5,073	1,098	383	
5 株式等譲渡割交付金	2,692	△ 483	203	
6 地方消費税交付金	103,055	△ 2,013	7,773	
7 ゴルフ場利用税交付金	26,325	△ 1,814	1,986	
8 自動車取得税交付金	39,247	△ 3,061	2,960	
9 地方特例交付金	7,397	△ 17,823	558	
10 地方交付税	1,512,735	19,546	114,100	
11 交通安全対策特別交付金	2,399	△ 445	181	
12 分担金及び負担金	118,056	△ 5,074	8,905	
13 使用料及び手数料	119,096	881	8,983	
14 国庫支出金	108,507	13,020	8,184	
15 県支出金	180,610	28,187	13,623	
16 財産収入	11,103	△ 3,751	837	
17 寄付金	1,284	1,156	97	
18 繰入金	80,673	31,100	6,085	
19 繰越金	120,221	18,664	9,068	
20 諸収入	227,116	△ 2,087	17,130	
21 町債	183,875	△ 252,125	13,869	
歳入合計	4,176,221	△ 134,377	314,996	

前年度に比べて1億3千437万7千円の減(△3.1%)

町税の内訳



歳出		単位:千円		
科目	決算額	前年度決算との比較	町民一人当たり(円)	
1 議会費	70,435	△ 12,884	5,313	
2 総務費	468,718	62,923	35,354	
3 民生費	1,045,136	△ 130,637	78,831	
4 衛生費	334,770	10,691	25,250	
5 労働費	13,498	259	1,018	
6 農林水産業費	256,417	△ 45,199	19,341	
7 商工費	362,802	59,207	27,365	
8 土木費	384,659	△ 10,994	29,013	
9 消防費	206,140	6,407	15,548	
10 教育費	352,999	△ 9,911	26,625	
11 公債費	569,616	△ 43,981	42,964	
12 災害復旧費	0	△ 11,068	0	
歳出合計	4,065,190	△ 125,187	306,622	

前年度に比べて1億2千518万7千円の減(△3.0%)

歳入歳出差引額 1億1,103万1千円 (田上町人口 平成20年9月1日現在 13,258人)

平成19年度田上町特別会計の歳入・歳出決算額

区分	歳入	歳出	差引額
下水道事業	537,940	534,130	3,810
集落排水事業	75,384	73,982	1,402
国民健康保険	1,234,127	1,232,363	1,764
老人保健	1,168,273	1,159,750	8,523
訪問看護事業	53,217	39,674	13,543
介護保険	814,262	784,793	29,469
水道事業会計	収益的収入	収益的支出	
	264,208	232,576	31,632
	資本的収支	資本的支出	
19,043	74,131	△ 55,088	

一部事務組合等の報告

三条地域水道用水供給企業団

第2回定例会

期日 平成20年7月30日

場所 企業団事務所

議長選挙

三条市 木菱晃栄議員

平成19年度水道用水供給事業決算認定

(収益的)

収入 11億6千385万2千303円

支出 10億7千24万812円

(資本的)

収入 21億1千95万4千円

支出 25億9千877万8千801円

質議の中で、今すぐ水道料金を値上げする状況に至っていないとの企業長の答弁があった。

企業団議員 小野澤健吉

池井 豊

見玉 輝男

新潟県後期高齢者医療広域連合

8月定例会

期日 平成20年8月1日

場所 新潟県自治会館

提出議案は2件

議案第8号 県広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

この制度は、4月1日から施行されたが更なる運営の円滑を図るため所得の低い方への保険料の軽減を図るための一部改正である。

※原案可決

議案第9号 広域連合の一般会計の決算認定について

県内全市、町、村からの負担金

と臨時特例交付金を受け入れたもの、人件費、広報費等である。

歳入額19億9千90万3千円

歳出額18億9千603万1千円

※認定

他一般質問3名、陳情1件は

賛成少数で不採択となる。

組合議員 吉田 昭一

議員の活動あれこれ

先回引き続き議員の政務調査活動をご紹介します。田上町の議員には一人あたり月額3千円の政務調査費が支給されています。個人的に広報紙を作成して新聞折込したり、活動報告会を開催したりしています。また、書籍等の資料購入にも使われます。



政務調査費で 参考書の購入

調査費の使い道は決められた事柄以外には使えない事になっている。議員活動に必要な書籍の購入に大半を使わせていただいている。新聞の広告欄で調べたり出版社から届くものの中から選んで購入している。地元の新聞社から発行される町や村の成り立ちが写真入りで紹介されているものなど特に興味を持って視ている。

(吉田 記)

個々議員によつて異なりますが、年に数回または4年に1回は活動報告会を開催しています。レクリエーションを一緒に行ったり、新年会と合せて開催したりする人もいます。

活動報告会を 開催



個人広報紙を 発行

議会終了後議員は町民とのコミュニケーションの為に各自の議会だよりを発行しています。一般質問に関連したことが多くなりますが、自分なりの意見や評価も書きます。各議員から見た議会の動きや、議員としての自分の考えや、行動を町民の方に知ってほしいと思っています。それで個人広報をつくりまします。家々を廻つてポストに入れたり、新聞折込をしたり、郵送したりして町民の方に届くようにしています。

(川口 記)



編集後記

平成19年度決算を審査し、財政再建は順調に推移するものの、まだまだ厳しい部分もあることを感じた。

世界経済もアメリカの金融危機を発端に混迷を深めている。他に影響されず自立した経済運営が保てる田上町でありたい。

事故米・食品偽装などの食の安全も問題になっている。田上町の給食は安全であること、地産地消の率も高いことが報告された。地元産の安全安心食材が、いつでも買えて、流通経路も確認できる田上町でありたい。

我々は、それらをしっかりと審議するのが議会の役割である。

(池井 記)

委員長 池井 豊
副委員長 渡邊 正策
委員 吉田 昭一
委員 泉田 壽一
委員 川口與志郎
委員 中野 和美

お知らせ

12月定例会初日の予定
12月15日(月)